



ほほえみ 第111号

年が明けて、新型肺炎のニュースでもちきりですが、タイミングが丁度春節に当たったということで、中国の状況は大変厳しくなっています。SARS越える感染者、死者が出ており、通常は雑踏となっている町中でも、人通りもほとんどなく、感染機会を減らすように多くの人びとが努力されているのがよく分かります。医療者にも感染者、過労死の方も出ていますので、これが日本だったらどうすべきだろうと、つい、考えてしまいますね。

新型肺炎

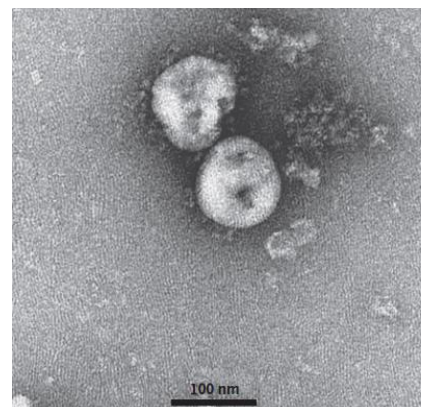
先月から、テレビのニュースの冒頭は、新型肺炎です。急速に罹患者数が増えているようで、武漢から日本人が政府チャーター機で帰国、経過観察となるなど、当面、感染拡大に向かいそうです。クルーズ船は乗客も多く、滞在している環境も厳しそうですね。早く、解放されると良いのですが。

ニュース番組は、どれも似たり寄ったりであり、個人的な見解も多いようですが、科学論文も何報か出てきています。まず、今回の新型肺炎のウイルス(2019-nCoVと当面呼ばれることになりそうです)は、2002年に起こったSARSのウイルスと遺伝子配列が79.5%一致しており、さらに、コウモリのコロナウイルスとは96%が一致しています。つまり、新型肺炎はコウモリ由来であるということです。感染を引き起こすウイルス蛋白質も同定されていますが、ACE2という蛋白質で、これはSARSと同じです。感染経路も類似しますね(Nature 2020年2月3日号)。

SARSの際には、感染者の致死率が9.5%と非常に高かったのですが、これまでの経過を見る限り、2-4%の報道が多いので、SARSほどには致死率は高くないとされています。症状は、発熱、咳嗽、呼吸困難、頭痛、肺炎です。

遺伝子の塩基配列が公表されているので、PCRという方法でウイルスの検出が可能です。非情に難しい検査という報道もありますが、通常、一回PCRを掛ける時に96サンプルの検査ができるますし、PCRそのものは分子生物学の実験を行っている研究室であれば普通に行えるものです。日本の科学力からして5000検体が検査不能とは考えにくいですね。技術的な問題というよりは、マンパワーや政治力の問題が大きいように思います。インフルエンザの迅速検査キットのような形の場合は、ウイルスに対する抗体があれば作れるのですが、どうも、そこまで至っていないようです。SARSのコロナウイルスとよく似たウイルスなので、共通する抗体があれば少し早く検査キットが作れそうではありますが、すぐには間に合わない気がします。

潜伏期間が12.5日と長いので、無症状でも感染を引き起こすとすると、実際にはウイルスを封じ込めることは難しいかもしれません。市中に感染が拡大してくる可能性もあるため、予防が重要ですが、マスクに関しては入手が困難となり社会問題化しており、その一方で効果が完全ではないようなので、とりあえず手洗いや、擦式のアルコール製剤を小まめに使いながら、体を休めて抵抗力が落ちないように心がけることも大切でしょう。



つるバラの剪定・誘引

12-2月は、つるバラの剪定・誘引の季節です。11月だとまだ枝が休眠していませんし、3月になると早めのバラは新芽が動き始めるので、どうしても真冬に作業をすることになります。バラは棘があるので、剪定・誘引するには特殊なバラ用の手袋をつけて作業するのですが、紐で結わえる必要があり、どうしても素手で作業せざるを得ないことも多いため、手が傷だらけになります。バラが咲いている時には、実はあまり行う作業はないのですが、この冬の間の作業が一番大変ですし、ロザリアンにとって楽しい作業でもあるのです。

今年は、作業が遅れており、2月になってようやく剪定・誘引が少し進んできたところです。休日だからといっても雪が降ると作業しづらくなるので、天候次第というところもあります。



スキー場

先日、子供のスキーの練習のためにスキー場に出掛けました。以前は、スキーやスノーボードで年間10回以上、スキー場に訪れる機会があったのですが、最近は、危ないからという理由で滑るのは禁止になっているため、ごくたまに出掛ける程度です。子供のスキーに関しては、インストラクターの方に教えていただいて、カフェテリアで本を読んだり、文章を書いたりしながら一日過ごしています。

南国リゾートで、プールサイドで、カクテルを飲んだり、日光浴しながら本を読んだりというのに、少しだけ似た感覚ですが、ちょっとした非日常を経験できますね。意外と、カフェテリアでおしゃべりしている時間が長いスキーヤーもいるのだなという気付きもあります。滑っていたころは、滑っているか、リフトに乗っているかだったので、カフェテリアには長居はしなかったのですが、自分が滑らないでコーヒーを飲みながら過ごすことになるとは予想もしていませんでした。

暖冬ということで、雪は以前より少ないようですが、雪質は良かったですね。



MEMO

2月のがん化学療法科の予定

2月3日	節分 豆まき
2月4日	診療応援(平出先生)
2月11日	建国記念日
2月18日	診療応援(平出先生)
2月24日	振り替え休日
2月25日	診療応援(工藤先生)

